

平成29年度

公害関係各種調査結果

飯能市産業環境部

平成29年度公害関係各種調査結果

目次

1	市内ゴルフ場における農薬調査結果	1
2	道路交通騒音測定結果	3
3	道路交通振動測定結果	6
4	大気関係常時監視測定結果	8
5	光化学スモッグ注意報発令日時内容	9
6	二酸化窒素環境濃度調査結果	10
7	公害関係苦情受付状況	11
8	地下水汚染調査結果	12
9	ダイオキシン類環境調査結果	14
10	不法投棄パトロール等の状況	18
11	公共用水域の水質調査結果	19

市内ゴルフ場における農薬調査結果
平成29年度

単位：mg/ℓ

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能ゴルフ倶楽部	久邇 カントリークラブ	武蔵丘 ゴルフコース	飯能グリーン カントリークラブ
			H29.6.1	H29.6.1	H29.6.1	H29.6.1
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	※
	ダイアジノン	0.025	※	※	※	※
	チオジカルブ	0.4	※	※	※	※
	トリクロルホン	0.025	※	※	※	※
	フェントロチオン	0.015	※	※	※	※
	ペルメリン	0.5	※	※	※	※
	ペンスタップ	0.45	※	※	※	※
殺菌剤	イプロジオン	1.5	※	※	※	※
	イミノクタジナルベシル 酸塩及びイミノクタジ ン酢酸塩	0.03	※	※	※	※
	エトリシアゾール	0.02	※	※	※	※
	オキシ銅	0.2	※	※	※	※
	キャプタン	1.5	※	※	※	※
	クロタロニル	0.2	※	※	※	※
	クロネブ	0.25	※	※	※	※
	シフェノコナゾール	0.15	※	※	※	※
	シプロコナゾール	0.15	※	※	※	※
	チウラム	0.1	※	※	※	※
	チオファネートメチル	1.5	※	※	※	※
	チフルサミド	0.25	※	※	※	※
	テトラコナゾール	0.05	※	※	※	※
	トリフルミゾール	0.25	※	※	※	※
	トルクロホスメチル	1.0	※	※	※	※
	ハリダマイシン	6.0	※	※	※	※
	ヒドロキシイソキサゾール	0.5	※	※	※	※
	プロピコナゾール	0.25	※	※	※	※
	ベノミル	0.1	※	※	※	※
	ホスカリト	0.55	※	※	※	※
ホセチル	11.5	※	※	※	※	
ホリカーハメート	0.15	※	※	※	※	
除草剤	アシュラム	1.0	※	0.002	※	※
	エトキシスルフロ ン	0.5	※	※	※	※
	シクロスルフアム ロン	0.4	※	※	※	※
	シデュロン	1.5	※	※	※	※
	シマジン	0.015	※	※	※	※
	トリクロピル	0.03	※	※	※	※
	ナプロパミド	0.15	※	※	※	※
	ブラザスルフロ ン	0.15	※	※	※	※
	プロピサミド	0.25	※	※	※	※
	ペンフルラリン	0.1	※	※	※	※
MCPAイソプロピルア ミン塩及びMCPAナ トリウム塩	0.025	※	※	※	※	
植物成長調整剤						
トリネキサパックエチル	0.075	※	※	※	※	

備考：「※」は、定量下限値未満

指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値

市内ゴルフ場における農薬調査結果
平成29年度

単位：mg/ℓ

種類	ゴルフ場 項目	本市の 指針値	飯能パーク カントリークラブ	東都飯能 カントリークラブ	飯能くすの樹 カントリー倶楽部	本市の 指針値	新武蔵丘 ゴルフコース
			H29.6.1	H29.6.1	H29.6.1		H29.6.1
殺虫剤	イソキサチオン	0.04	※	※	※	0.008	※
	クロルピリホス	0.01	※	※	※	0.002	※
	ダ'イアジ'ノン	0.025	※	※	※	0.005	※
	チオジ'カルブ'	0.4	※	※	※	0.08	※
	トリクロルホン	0.025	※	※	※	0.005	※
	フェントロチオン	0.015	※	※	※	0.003	※
	ヘルメトリン	0.5	※	※	※	0.1	※
	ベンスルタップ'	0.45	※	※	※	0.09	※
殺菌剤	イプロジ'オン	1.5	※	※	※	0.3	※
	イミノクタジ'ンアルベ'シル 酸塩及びイミノクタジ'ン	0.03	※	※	※	0.006	※
	エトリアゾ'ール	0.02	※	※	※	0.004	※
	オキシ'ン銅	0.2	※	※	※	0.04	※
	キャプ'タン	1.5	※	※	※	0.3	※
	クロタロ'ニル	0.2	※	※	※	0.04	※
	クロネブ'	0.25	※	※	※	0.05	※
	シ'フェノコナゾ'ール	0.15	※	※	※	0.03	※
	シ'プロコナゾ'ール	0.15	※	※	※	0.03	※
	チウ'ラム	0.1	※	※	※	0.02	※
	チオファ'ネートメチ'ル	1.5	※	※	※	0.3	※
	チ'フルサ'ミト'	0.25	※	※	0.001	0.05	※
	テトラコ'ナゾ'ール	0.05	※	※	※	0.01	※
	トリフル'ミゾ'ール	0.25	※	※	※	0.05	※
	トルクロ'ホスメチ'ル	1.0	※	※	※	0.2	※
	パ'リダ'マイシ'ン	6.0	※	※	※	1.2	※
	ヒト'ロキシイ'ソキサゾ'ール	0.5	※	※	※	0.1	※
	プロ'ピコナゾ'ール	0.25	※	※	※	0.05	※
	ベ'ノミ'ル	0.1	※	※	※	0.02	※
	ホ'スカリ'ト'	0.55	※	※	※	0.11	※
ホセ'チ'ル	11.5	※	※	※	2.3	※	
ホ'リカー'ハ'メート	0.15	※	※	※	0.03	※	
除草剤	ア'シュ'ラム	1.0	※	※	※	0.2	0.002
	エトキシ'スル'フロン	0.5	※	※	※	0.1	※
	シクロ'スル'ファミ'ロン	0.4	※	※	※	0.08	※
	シ'デ'ュ'ロン	1.5	※	※	※	0.3	※
	シ'マ'ジ'ン	0.015	※	※	※	0.003	※
	トリ'クロ'ピ'ル	0.03	※	※	※	0.006	※
	ナ'プロ'ハ'ミ'ト'	0.15	※	※	※	0.03	※
	フラ'サ'スル'フロン	0.15	※	※	※	0.03	※
	プロ'ピ'サ'ミ'ト'	0.25	※	※	※	0.05	※
	ベン'フル'ラ'リン	0.1	※	※	※	0.02	※
植物成長調整剤	MCPAイ'ソ'プロ'ピ'ル'ア'ミ'ン 塩及びMCPAナ'ト リウ'ム'塩	0.025	※	※	※	0.005	※
	トリ'ネ'キサ'バ'ック'エチ'ル	0.075	※	※	※	0.015	※

備考：「※」は、定量下限値未満
指針値は、飯能市環境保全条例施行規則第40条に定める水質指針値
(但し、新武蔵丘は、1/5)

道路交通騒音測定結果
平成29年度

図面番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測定日	時間帯別騒音レベル(dB)						走行方向	交通量(台/10分)					平均速度(km/h)
			測定値		環境基準		要請限度			大型	小型	二輪	小計	合計	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間							
1	県道飯能寄居線 下加治バイパス 下加治354・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	68	65	○	○	○	○	飯能	17	89	1	107	198	41
									寄居	13	77	1	91		44
2	県道馬引沢飯能線 双柳373・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	66	59	○	○	○	○	狭山	2	49	1	52	93	42
									飯能	1	37	3	41		41
3	国道299号 双柳782・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	70	65	○	○	○	○	入間	3	82	2	87	175	32
									秩父	2	83	3	88		41
4	県道富岡入間線 阿須130・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	72	64	×	○	○	○	青梅	5	49	0	54	106	51
									入間	6	45	1	52		54
5	国道299号 八幡町13・2車線 C地域	11.30 ～ 12/1	65	60	○	○	○	○	入間	4	65	1	70	130	42
									秩父	3	55	2	60		39
6	県道二本木飯能線 川寺627・2車線 C地域	11.30 ～ 12/1	69	66	○	×	○	○	入間	9	38	1	48	100	49
									飯能	7	42	3	52		49
7	国道299号 飯能狭山バイパス 青木37・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	63	60	○	○	○	○	狭山	8	155	0	163	290	49
									飯能	11	116	0	127		46
8	県道飯能名栗線 永田539-1・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	66	60	○	○	○	○	飯能	5	60	1	66	154	46
									名栗	9	77	2	88		47
9	国道299号 井上169・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	71	70	×	×	○	○	入間	10	55	0	65	132	54
									秩父	12	54	1	67		59

図面番号	道路名 測定地点・車線数 区域の区分	測定日	時間帯別騒音レベル(dB)						走行方向	交通量(台/10分)					平均速度(km/h)
			測定値		環境基準		要請限度			大型	小型	二輪	小計	合計	
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間							
10	市道川寺上野線 飯能1344・2車線 B地域	11.30 ～ 12/1	67	62	×	×	○	○	上野	10	60	0	70	128	43
									川寺	6	51	1	58		47

○…基準値内 ×…基準値超過 ※交通量台数は2回(11時、17時)測定した平均値
 環境基準：人の健康を保護し、生活環境を保全する上で維持することが望ましいとされる基準。
 要請限度：自動車による騒音がこの限度を超え、道路周辺の生活環境が著しく損なわれている場合、
 公安委員会に必要な措置の要請及び道路管理者等に意見が述べることができる限度。
 考察：昼間(6時～22時)2地点、夜間(22時～6時)3地点に、環境基準の超過があります。
 しかし、いずれも要請限度を下回っています。

<面的評価> 県道青梅飯能線

昼夜別 区間数	昼 間			夜 間		
	達成戸数	全戸数	環境基準達成率	達成戸数	全戸数	環境基準達成率
1	1,009	1,014	99.5%	876	1,014	86.4%



<騒音に係る環境基準>

ア 一般の環境基準

地域の種類	時間の区分		該 当 地 域
	昼間(6時～22時)	夜間(22時～6時)	
A	55dB以下	45dB以下	第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域
B			第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途外
C	60dB以下	50dB以下	近隣商業地域、商業地域、準工業地域、工業地域

イ 道路に面する地域の環境基準

地域の区分	昼 間	夜 間
A地域のうち2車線以上の車線を有する地域	60dB以下	55dB以下
B地域のうち2車線以上の車線を有する地域	65dB以下	60dB以下
C地域のうち車線を有する地域		

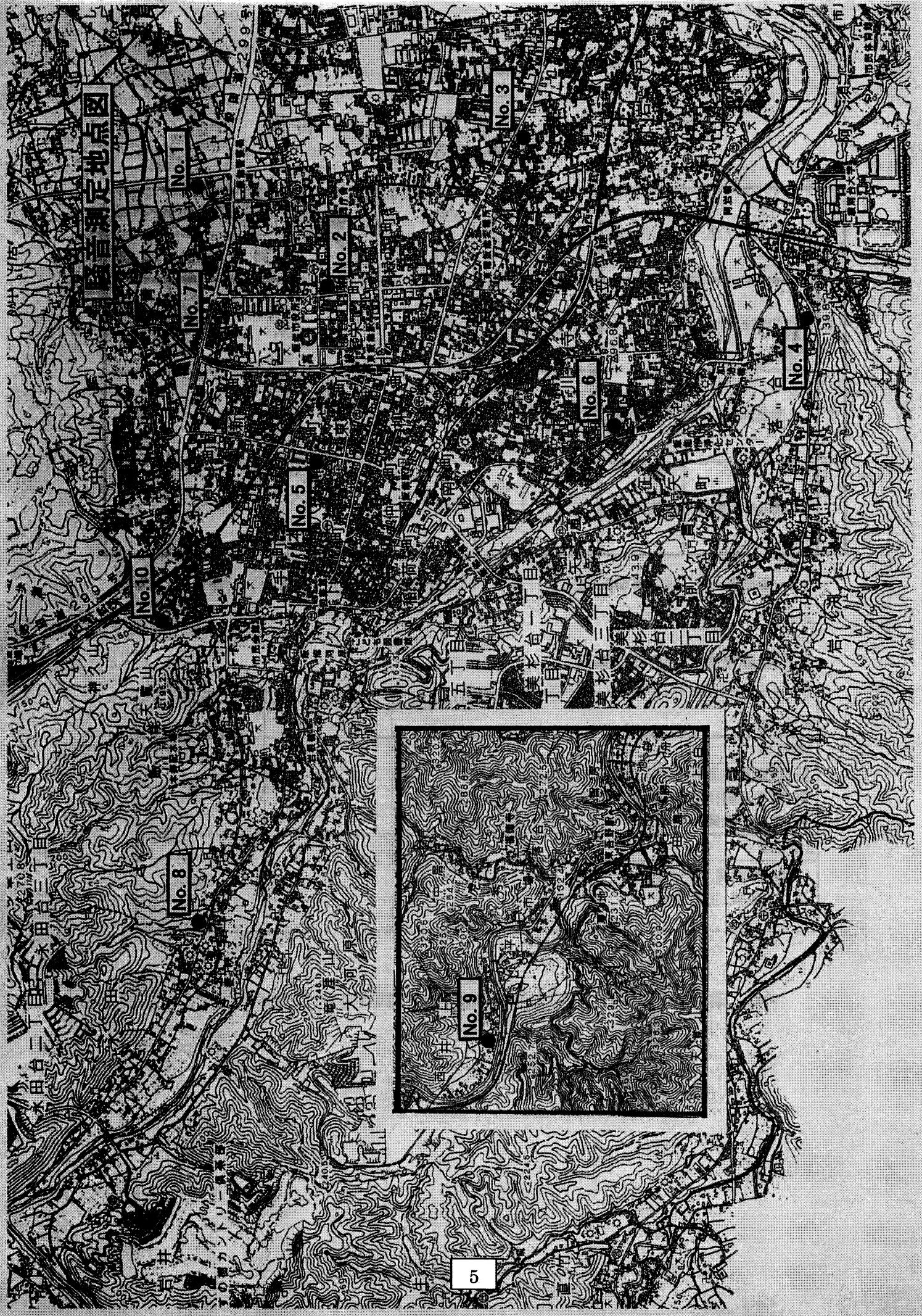
注) 車線とは、1縦列の自動車が安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

ウ 幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準(特例)

区 分	昼 間	夜 間
屋 外	70dB以下	65dB以下

注) 幹線交通を担う道路とは、高速自動車国道、一般国道、都道府県道、4車線以上の市町村道をいう。

語言測定地点図



道路交通振動測定結果 平成29年度

図 面 番 号	道 路 名	測定地点	測定日	車線 数	区域 の 区分	時間別振動レベル 上端値(dB) (要 請 限 度)		交通量(台/10分)	
						昼 間	夜 間	昼 間	夜 間
1	県道二本木・飯能線	川寺627	11.30 ~12/1	2	2種	○ 33 (70)	○ 29 (65)	79	21
2	国道299号 飯能狭山バイパス	青木37	11.30 ~12/1	2	1種	○ 42 (65)	○ 36 (60)	256	34
3	県道飯能・名栗線	永田539-1	11.30 ~12/1	2	1種	○ 31 (65)	○ 27 (60)	118	36

○…基準値内 ×…基準値超過

※交通量台数は昼間2回(11時、17時)、
夜間2回(22時、2時)を測定した平均値

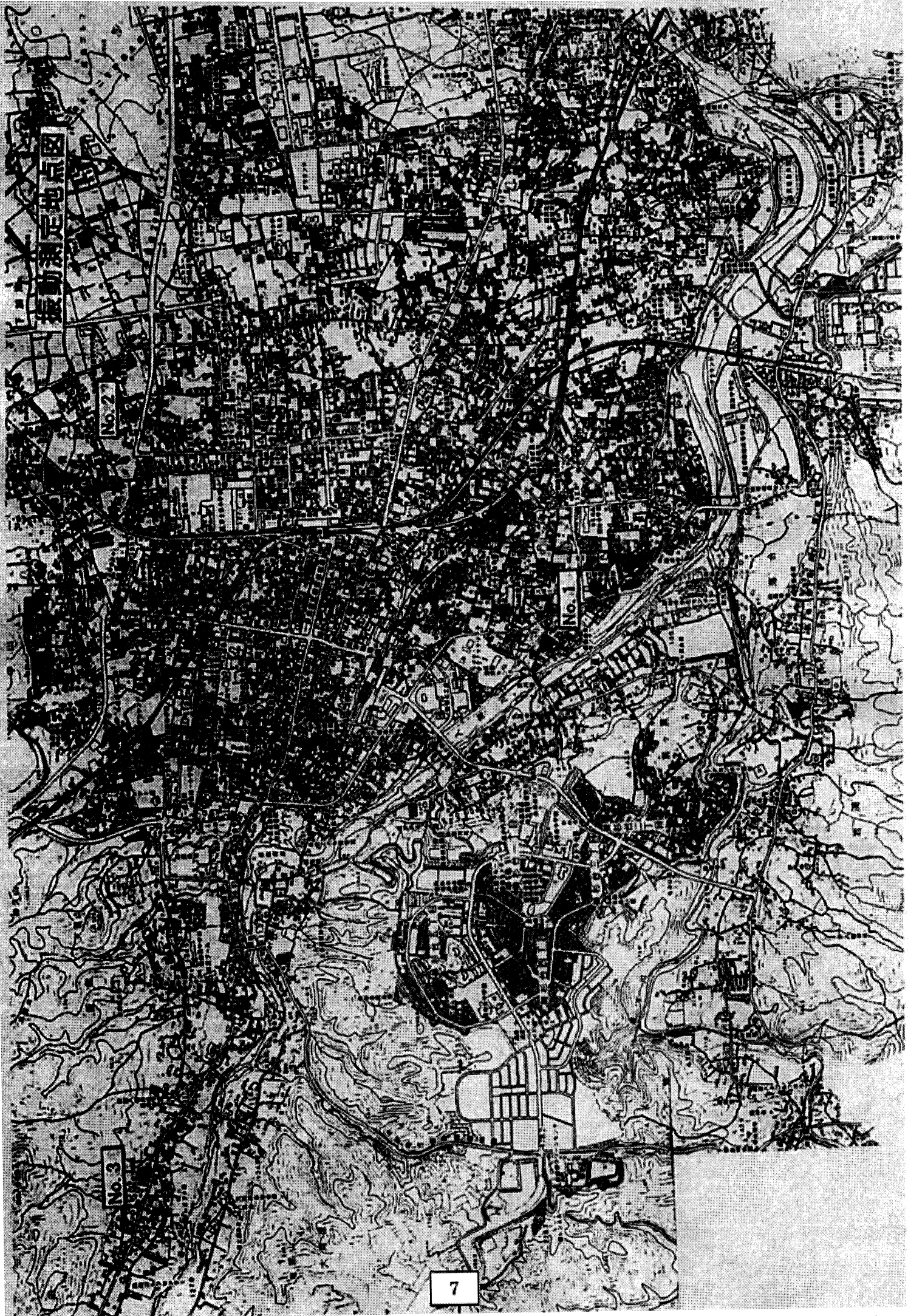
道路交通振動に係る要請限度

単位 デシベル

区域の区分	時間の区分	
	昼間 (8時~19時)	夜間 (19時~8時)
1種区域	65	60
第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域		
第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域 第1種住居地域、第2種住居地域、準住居地域、用途外		
2種区域	70	65
近隣商業地域、商業地域 準工業地域、工業地域		

考察：道路交通振動については、要請限度を十分満足する数値となっています。

震動測定地点図



大気関係常時監視測定結果 平成29年度

一酸化窒素(NO) 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	30.1	2	3	平均等
月平均値	0.001	0.001	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.004	0.004	0.003	0.002	0.002	0.002
1時間値の最高値	0.013	0.013	0.013	0.019	0.019	0.013	0.025	0.066	0.058	0.037	0.016	0.037	0.066
日平均値の最高値	0.002	0.002	0.004	0.003	0.005	0.004	0.006	0.011	0.010	0.010	0.004	0.005	0.011

二酸化窒素(NO₂) 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.04ppm~0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下 (単位:ppm)

項目 / 月	29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	30.1	2	3	平均等
月平均値	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	0.008	0.011	0.011	0.010	0.011	0.010	0.009
1時間値の最高値	0.026	0.026	0.034	0.031	0.026	0.033	0.024	0.040	0.054	0.035	0.037	0.037	0.054
日平均値の最高値	0.012	0.014	0.015	0.011	0.017	0.016	0.014	0.017	0.018	0.019	0.017	0.018	0.019

窒素酸化物 環境基準値:なし

(単位:ppm)

項目 / 月	29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	30.1	2	3	平均等
月平均値	0.009	0.009	0.010	0.010	0.010	0.010	0.010	0.015	0.015	0.014	0.013	0.012	0.011
1時間値の最高値	0.031	0.035	0.047	0.044	0.044	0.040	0.041	0.090	0.112	0.059	0.038	0.056	0.112
日平均値の最高値	0.013	0.016	0.017	0.014	0.021	0.020	0.017	0.026	0.028	0.025	0.020	0.022	0.028

光化学オキシダント 環境基準値:1時間値が0.06ppm以下

(単位:ppm)

項目 / 月	29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	30.1	2	3	合計等
昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた	日数	19	22	23	17	11	13	4	0	0	0	0	118
	時間	82	145	128	101	43	51	13	0	0	0	0	614
昼間の1時間値が 0.12ppmを超えた	日数	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	4
	時間	0	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	6
昼間1時間値の最高値	0.077	0.103	0.124	0.133	0.107	0.091	0.078	0.059	0.044	0.046	0.055	0.096	0.133

浮遊粒子状物質 環境基準値:1時間値の1日平均値が0.10mg/m³以下、かつ1時間値が0.20mg/m³以下 (単位:mg/m³)

項目 / 月	29.4	5	6	7	8	9	10	11	12	30.1	2	3	平均等
月平均値	0.017	0.021	0.018	0.021	0.020	0.015	0.012	0.016	0.011	0.012	0.015	0.018	0.016
1時間値の最高値	0.044	0.047	0.050	0.061	0.051	0.032	0.067	0.071	0.047	0.047	0.057	0.054	0.071
日平均値の最高値	0.025	0.035	0.032	0.037	0.033	0.024	0.035	0.033	0.024	0.030	0.029	0.037	0.037

※埼玉県大気汚染常時監視測定局(飯能局)で測定した数値
設置場所 飯能県土整備事務所

一酸化窒素(NO) : 無色の気体で液化しにくく空気よりやや重い。空気又は酸素に触れると赤褐色の二酸化窒素に変わる。

二酸化窒素(NO₂): 石油や石炭等の窒素分を含んだ燃料の燃焼によって発生する。呼吸器系の疾患の原因となる。

窒素酸化物(NO_x): 窒素と酸素の反応により生成された物質の総称。NOやNO₂等が主なもので、光化学スモッグの原因物質の一つ。

光化学オキシダント: 紫外線によって複雑な化学反応を起こして作られるオゾン、PAN、NO₂等の酸化性物質の集合体。

浮遊粒子状物質 : 粉じん、ばいじん等の大気中の粒子状物質のうち、その粒径が10μm以下のもの。SPM。

光化学スモッグ注意報発令日時内容
平成29年度 県南西部地区

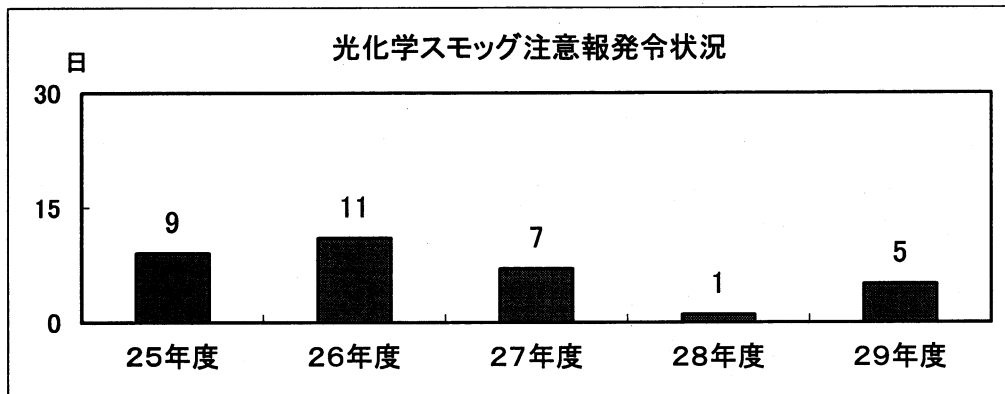
No.	発令日	天候	発令時間	発令内容	最高値
1	29. 6. 20(火)	晴	12:20~15:20	光化学スモッグ注意報	0.145ppm
2	29. 6. 23(金)	晴	14:20~17:20	光化学スモッグ注意報	0.128ppm
3	29. 7. 3(月)	晴	15:20~17:20	光化学スモッグ注意報	0.141ppm
4	29. 7. 7(金)	晴	14:20~18:20	光化学スモッグ注意報	0.138ppm
5	29. 7. 8(土)	晴	14:20~18:20	光化学スモッグ注意報	0.162ppm

○光化学スモッグ発令基準

注 意 報：オキシダント測定値が0.12ppm以上となり、継続すると認められるとき。

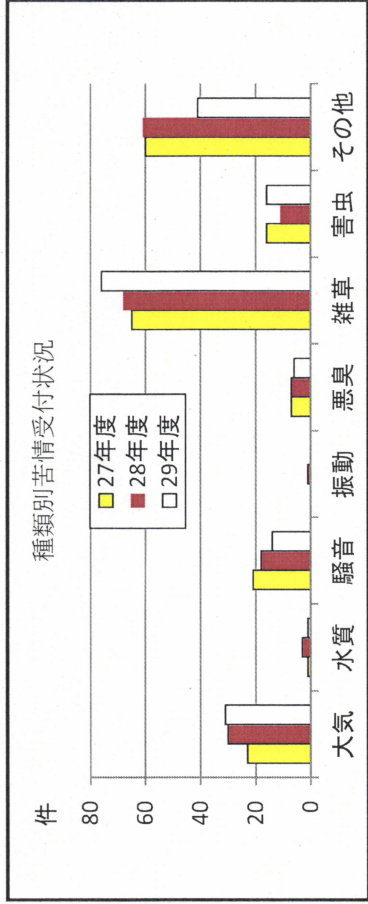
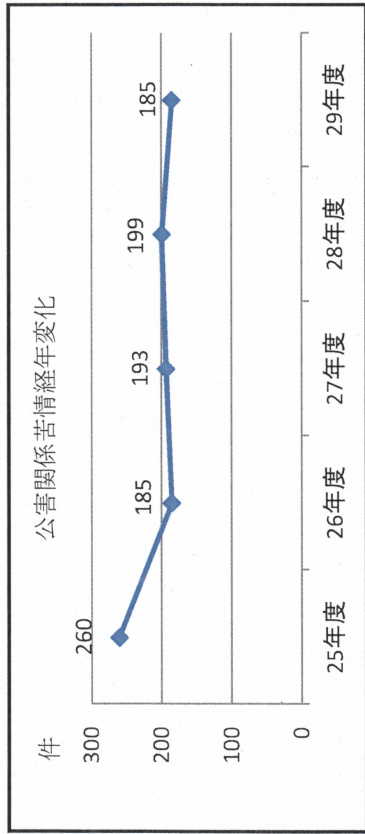
警 報：オキシダント測定値が0.20ppm以上となり、継続すると認められるとき。

重大緊急報：オキシダント測定値が0.40ppm以上となり、継続すると認められるとき。



※県南西部地区では、昭和60年から警報の発令はありません。

平成29年度 公害関係苦情受付状況



※同じ原因に対する苦情は、1件としています。

○ 主な苦情

No.	受理日	種別	地域	苦情内容及び対応
1	4.17	雑草	岩 沢	近所の空き家からの雑草が繁茂して困っている。→所有者に対し文書による適正管理の指導を行った。
2	5.18	大気汚染	南	隣人がプラスチックを燃やし、黒い煙が出て息苦しい。→現地にて違法焼却であることを説明するなど野焼き行為禁止の指導をした。
3	7.11	騒音	八幡町	マンションからの騒音が四六時中している。→まずは、マンションの管理組合へ相談いただくよう伝えた。
4	8. 3	動物	南 川	野良猫に餌をやっている人が居て糞尿に困っている。→現地確認の上、ボランティアの方の協力を仰ぎ、不妊去勢手術を実施した。
5	8.21	害虫	岩 沢	付近のプレハブ小屋から蜂がたくさん出入りしている。→土地所有者を確認し、文書にて土地の適正管理の指導を行った。
6	9. 1	雑草	双 柳	隣の空き地の雑草がひどく困っている。→散歩時リードを外している人が居る危険。→巡視の結果、原因者が判明し、直接指導した。
7	9.14	その他	東 町	犬の散歩時にリードを外している人が居る危険。→原因者に確認したところ頻繁に喫煙していたがご配慮いただくよう伝えた。
8	9.15	悪臭	緑 町	隣家からのタバコの臭いが自宅に入り困っている。→苦情が出ているため野焼き行為の禁止を伝え、クリーンセンターへの搬入を依頼した。
9	9.27	大気汚染	岩 沢	近所の畑で野焼きをしていて煙がひどい。→作業工程で臭いが付いてしまうのが心配である。→現地確認しボランティアの方の協力を抑えるなどの工夫を依頼した。
10	10.19	動物	平 戸	近所で野良猫が多く見られ増えていて煙がひどい。→自洽会による猫対策会議に出席し、地域猫対策について説明した。
11	11.10	悪臭	矢 風	付近の工場から毎日のようにシンナー臭がする。→作業工程で臭いが付いてしまうこと。臭いの発生を抑えるなどの工夫を依頼した。
12	11.16	大気汚染	下赤工	近所で落ち葉などを燃やしており洗濯物に臭いが付いている。→自洽会による猫対策会議に出席し、地域猫対策について説明した。
13	12.15	動物	柳 町	野良猫のフンや鳴き声に困っている。→自洽会による猫対策会議に出席し、地域猫対策について説明した。
14	1.11	騒音	下加治	建物のボイラーの騒音で眠れず困っている。→建物の担当者へ事情を説明し、ボイラーの稼働状況の改善を図ってもらった。
15	1.18	水質汚濁	岩 沢	藤田堀の水が白く濁っている。→現地にてパケットを実施し問題のないことを確認。濁水期で水が少ないことが原因と思われる。

地下水汚染調査結果

トリクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
25年度	0.03	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002未満	1.3	0.002未満	0.002未満
26年度	0.01	0.002未満	0.002未満	0.002未満	0.002	0.002	0.002未満	0.002未満	0.65	0.002未満	0.002未満
27年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.032	0.001未満	欠測
28年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.59	0.001未満	0.001未満
29年度		0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.001未満	0.58	0.001未満	0.001未満

テトラクロロエチレン

(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
25年度	0.01	0.0100	0.014	0.0005未満	0.0015	0.0016	0.0005未満	0.0007	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
26年度		0.0087	0.0069	0.0005未満	0.0005未満	0.0014	0.0005未満	0.0006	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
27年度		0.0071	0.014	0.0005未満	0.0015	0.0025	0.0005未満	0.0008	0.0005未満	0.0005未満	欠測
28年度		0.0069	0.0094	0.0005未満	0.0005未満	0.0022	0.0005未満	0.0005	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
29年度		0.0072	0.0099	0.0005未満	0.0010	0.0014	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満

1, 1, 1-トリクロロエタン

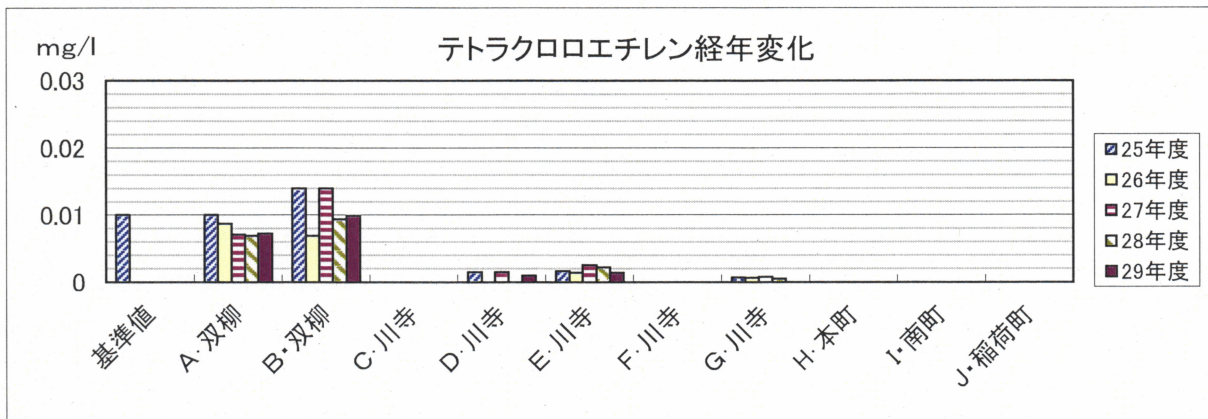
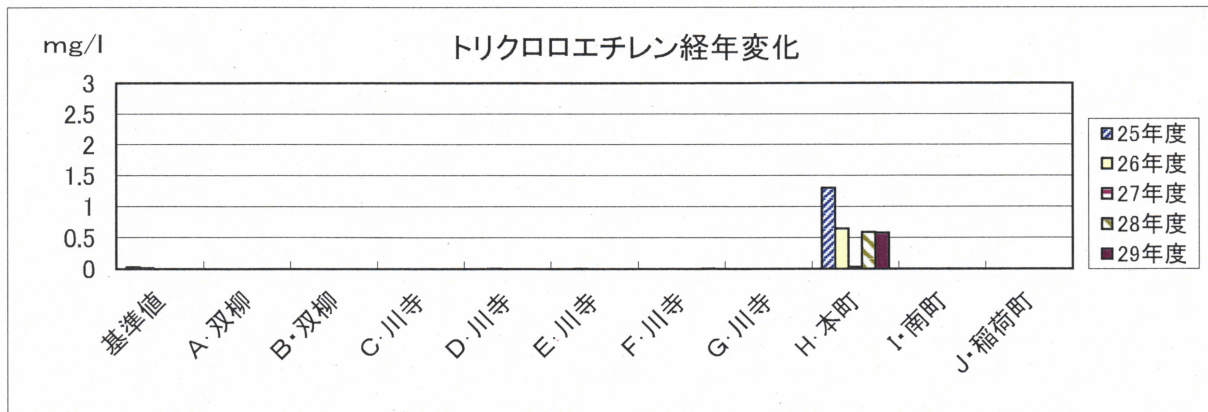
(単位:mg/l)

	基準値	A・双柳	B・双柳	C・川寺	D・川寺	E・川寺	F・川寺	G・川寺	H・本町	I・南町	J・稲荷町
25年度	1	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
26年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
27年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	欠測
28年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満
29年度		0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満	0.0005未満

採水年月日 平成29年1月31日

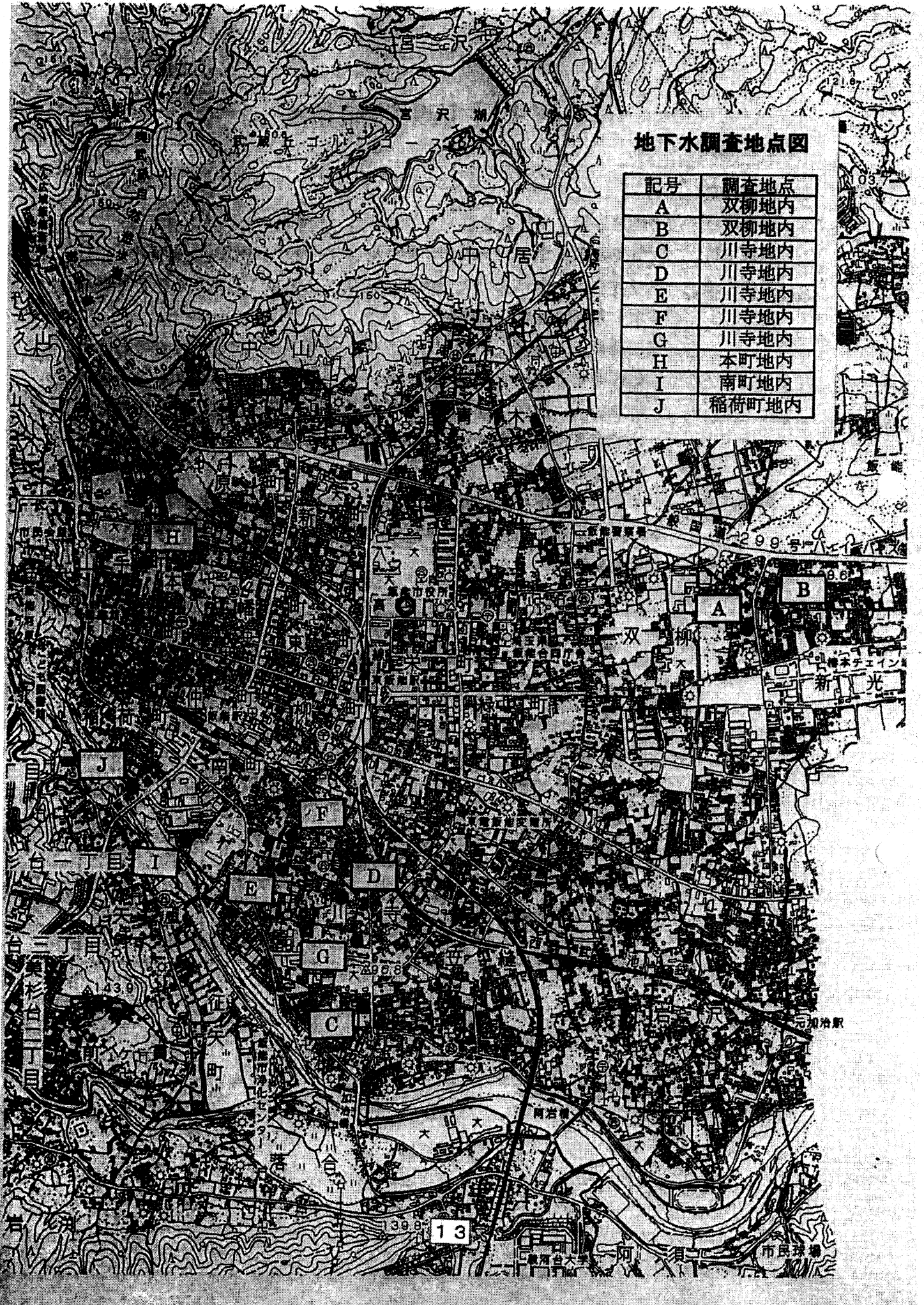
■ は、環境基準超過

※J・稲荷町は20年度から実施、D・川寺は22年度から調査地点変更、H・本町は23年度から実施



地下水調査地点図

記号	調査地点
A	双柳地内
B	双柳地内
C	川寺地内
D	川寺地内
E	川寺地内
F	川寺地内
G	川寺地内
H	本町地内
I	南町地内
J	稻荷町地内



ダイオキシン類環境調査結果

1. 大気調査

調査期日 平成29年11月22日～11月29日（1週間サンプリング手法）
調査項目 大気中のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目
調査方法 ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成20年3月環境省水・大気環境局）に準拠

※二重測定の実施 … 上記マニュアルに基づき試料採取分析における総合的な信頼性を確保するため、同一条件で採取した2以上の試料について、同様に分析し定量下限値以上の濃度の測定対象物質について両者の差が30%以下であることを確認する。本年度においても精明地区行政センターで実施した。

調査結果 ダイオキシン類対策特別措置法の大気に対する環境基準値である0.6 pg-TEQ/m³と比較すると、全地点で基準値以下でした。（下表参照）

調査地点	毒性換算濃度（pg-TEQ/m ³ ）		
	平成28年度	平成29年度	基準値
飯能市役所	0.0098	0.016	0.6
精明地区行政センター	0.013	0.019	
加治東地区行政センター	0.012	0.016	
美杉台小学校	0.0085	0.010	
南高麗中学校	0.0075	0.010	
吾野中学校	0.0056	0.0056	
東吾野地区行政センター	0.0083	0.013	
原市場中学校	0.0086	0.011	
名栗地区行政センター	0.0074	0.0044	

2. 土壌調査

調査期日	平成29年11月24日
調査項目	土壌のダイオキシン類28項目及びコプラナーPCBs14項目
調査方法	ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成21年3月環境省水・大気環境局）に準拠
調査結果	ダイオキシン類対策特別措置法の土壌に対する環境基準値である1000 pg-TEQ/gと比較すると、全地点で基準値以下でした。 (下表参照)

調査地点	毒性換算濃度 (pg-TEQ/g)		
	平成28年度	平成29年度	基準値
飯能第一中学校	1.5		1000
飯能西中学校	0.57		
加治東小学校	0.34		
南高麗小学校	2.3		
吾野小学校	0.23		
富士見小学校		0.20	
西川小学校		0.51	
原市場小学校		0.057	
加治中学校		1.8	
名栗中学校		0.35	

- (注) ・ pg … ピコグラム (1 pg = 1兆分の1グラム)
 ・ TEQ … 毒性等量。ダイオキシン類は多くの異性体が存在し、毒性もそれぞれ異なるため、最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラ-ジオキシンの毒性に換算して表していることを示す符号。

- 考 察 ○大気調査の結果は法令等（焼却規制）の強化により、全ての調査地点で0.1 pg-TEQ/g未満の数値となっています。
 ○土壌調査の調査地点は毎年変更していますが、全て1桁以下の数値となっています。

3. ごみ処理施設調査

調査期日 平成29年6月23日及び7月12日及び10月26日

調査項目 ごみ焼却施設 … 排ガス、焼却灰、飛灰

最終処分場 … 放流水、地下水

調査結果 ごみ焼却施設及び最終処分場とも、基準値以下で維持管理されています。

○クリーンセンター（旧）

調査地点		毒性換算濃度 (ng-TEQ/m ³ N)		
		平成28年度	平成29年度	基準値
排ガス	1号炉	0.017	0.16	5
	2号炉	0.012	0.00018	
		毒性換算濃度 (ng-TEQ/g)		
焼却灰	1号炉	0.0009	0.0019	3
	2号炉	0.0015	0.0016	
飛灰	1号炉	0.18	0.25	
	2号炉	0.34	1.0	

測定日：1号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成29年7月12日

2号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成29年6月23日

○クリーンセンター（新）

調査地点		毒性換算濃度 (ng-TEQ/m ³ N)		
		平成29年度	平成 年度	基準値
排ガス	1号炉	0.030		5
	2号炉	0.015		
		毒性換算濃度 (ng-TEQ/g)		
焼却灰	1号炉	0.0081		3
	2号炉	0.00066		
飛灰	1号炉	0.26		
	2号炉	0.14		

測定日：1号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成29年10月26日

2号炉（排ガス、焼却灰、飛灰）平成29年10月26日

○最終処分場

調査地点	毒性換算濃度 (pg-TEQ/l)		
	平成28年度	平成29年度	基準値
新最終処分場排水	0.00011	0.000099	10
旧最終処分場排水	1.60	0.29	
新最終処分場観測井(下流側)	0.061	0.75	1

測定日：新最終処分場排水 平成29年6月14日

旧最終処分場排水 平成29年6月14日

新最終処分場観測井(下流側) 平成29年6月14日

(注)・ng…ナノグラム (1ng=10億分の1グラム)

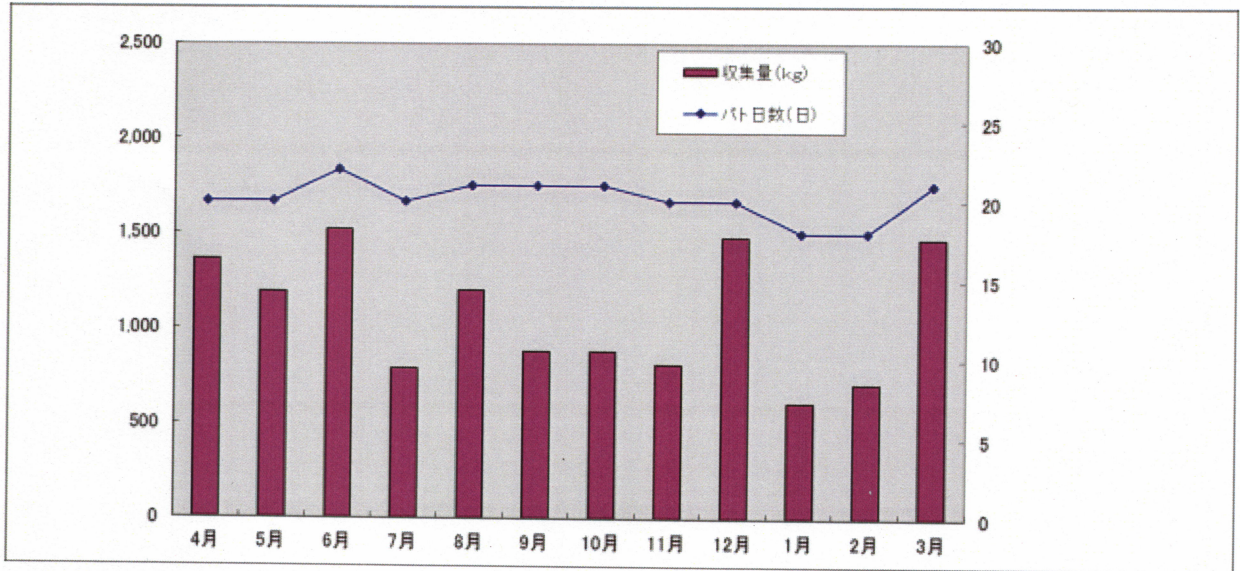
・pg…ピコグラム (1pg=1兆分の1グラム)

・m³N…ノルマル立方メートル 0℃、1気圧の状態に換算したガスの量

不法投棄パトロール等の状況

パトロール員による不法投棄物等の収集状況

平成29年度状況 パトロール日数 240日 収集量 12,900kg



主な不法投棄場所 (400kg 以上) 等

	収集日	不法投棄場所	主な投棄物	収集量
1	6/13	坂元	スクーター、ベッド、小型冷蔵庫等	420 kg
2	12/5	上名栗	タイヤ、鉄くず、テレビ等	440 kg
3				

年度別パトロール状況等

年度	パトロール日数	パトロール員収集量	【参考】不法投棄総量
25	222日	27,330 kg	43,780 kg
26	229日	15,670 kg	31,430 kg
27	237日	14,430 kg	29,900 kg
28	243日	16,060 kg	37,300 kg
29	240日	12,900 kg	23,350 kg

公共用水域の水質調査結果地点別総括表(生活環境項目)

(平成29年度)

河川名等	地点名	類型	pH		BOD(mg/l)			DO(mg/l)		SS(mg/l)		大腸菌群数(MPN/100ml)		
			平均値	最小値 ~最大値	平均値	75%値	最小値 ~最大値	平均値	最小値 ~最大値	平均値	最小値 ~最大値	平均値	最小値 ~最大値	
入間川	中郷橋下	A	8.0	7.8 ~ 8.2	0.6	0.5	0.8	10.8	8.9 ~ 13.9	1	1 ~ 1	760	33 ~ 1,300	
	弁天河原	A	7.9	7.7 ~ 8.1	0.7	0.7	0.8	10.7	8.5 ~ 13.9	1	1 ~ 2	410	23 ~ 940	
	開運橋下	A	8.0	7.7 ~ 8.2	0.6	0.5	0.8	10.6	8.3 ~ 14.0	1	1 ~ 1	700	33 ~ 1,700	
	上赤沢バス折返場下	A	8.0	7.8 ~ 8.2	0.6	0.7	0.9	10.6	8.2 ~ 14.3	1	1 ~ 1	3,800	700 ~ 17,000	
	小岩井取水堰下	A	8.0	7.8 ~ 8.2	0.7	1.0	1.2	10.5	8.0 ~ 13.9	1	1 ~ 2	3,200	220 ~ 13,000	
	割岩橋下	A	8.1	7.8 ~ 8.8	0.8	1.1	1.7	11.4	8.5 ~ 15.9	2	1 ~ 6	6,200	330 ~ 22,000	
	阿岩橋下	A	7.7	7.5 ~ 7.9	2.0	2.6	4.5	9.7	7.8 ~ 14.7	1	1 ~ 1	5,600	110 ~ 28,000	
	坂石橋下	A	8.1	7.9 ~ 8.2	0.5	0.5	0.6	10.6	8.4 ~ 14.1	1	1 ~ 1	2,600	330 ~ 7,900	
	成木川	東吾野橋下	A	8.1	7.9 ~ 8.3	0.6	0.8	0.9	10.6	8.3 ~ 14.6	1	1 ~ 1	11,000	330 ~ 49,000
	中藤川	清川橋下	A	8.1	7.9 ~ 8.2	0.7	0.9	1.2	9.8	8.2 ~ 12.0	1	1 ~ 2	3,700	170 ~ 13,000
藤田堀	一ノ瀬橋下	-	8.0	7.8 ~ 8.1	0.6	-	1.0	10.3	7.6 ~ 13.3	1	1 ~ 1	2,100	790 ~ 4,900	
南小畦川	大字岩沢350番地先	-	7.2	7.0 ~ 7.3	5.3	-	11.0	6.6	4.3 ~ 9.0	2	1 ~ 3	69,000	11,000 ~ 140,000	
	大字青木・下加治境	-	7.6	7.4 ~ 7.8	2.3	-	5.1	8.5	6.8 ~ 11.2	2	1 ~ 4	60,000	3,300 ~ 240,000	

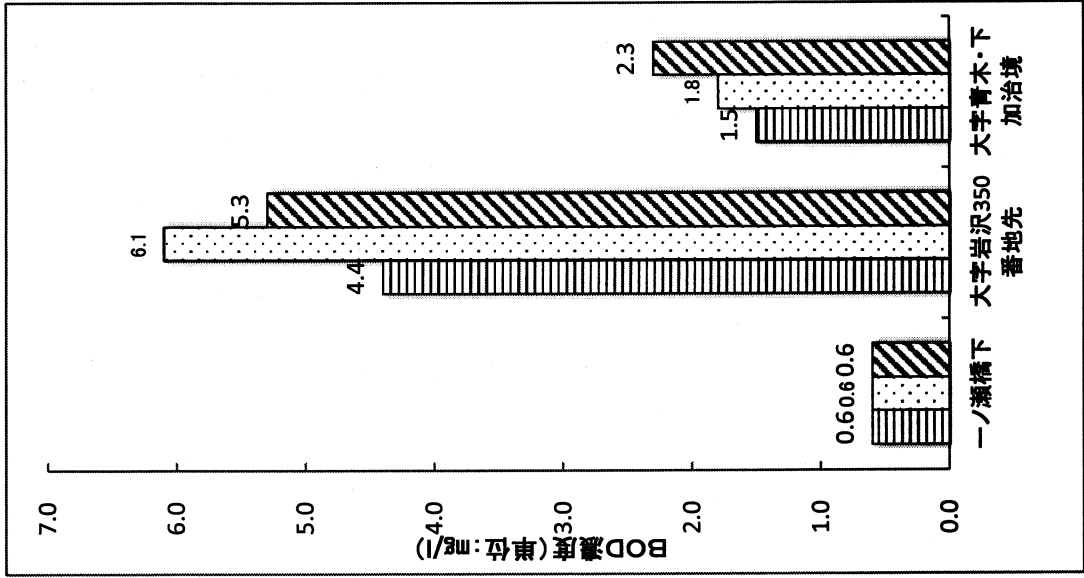
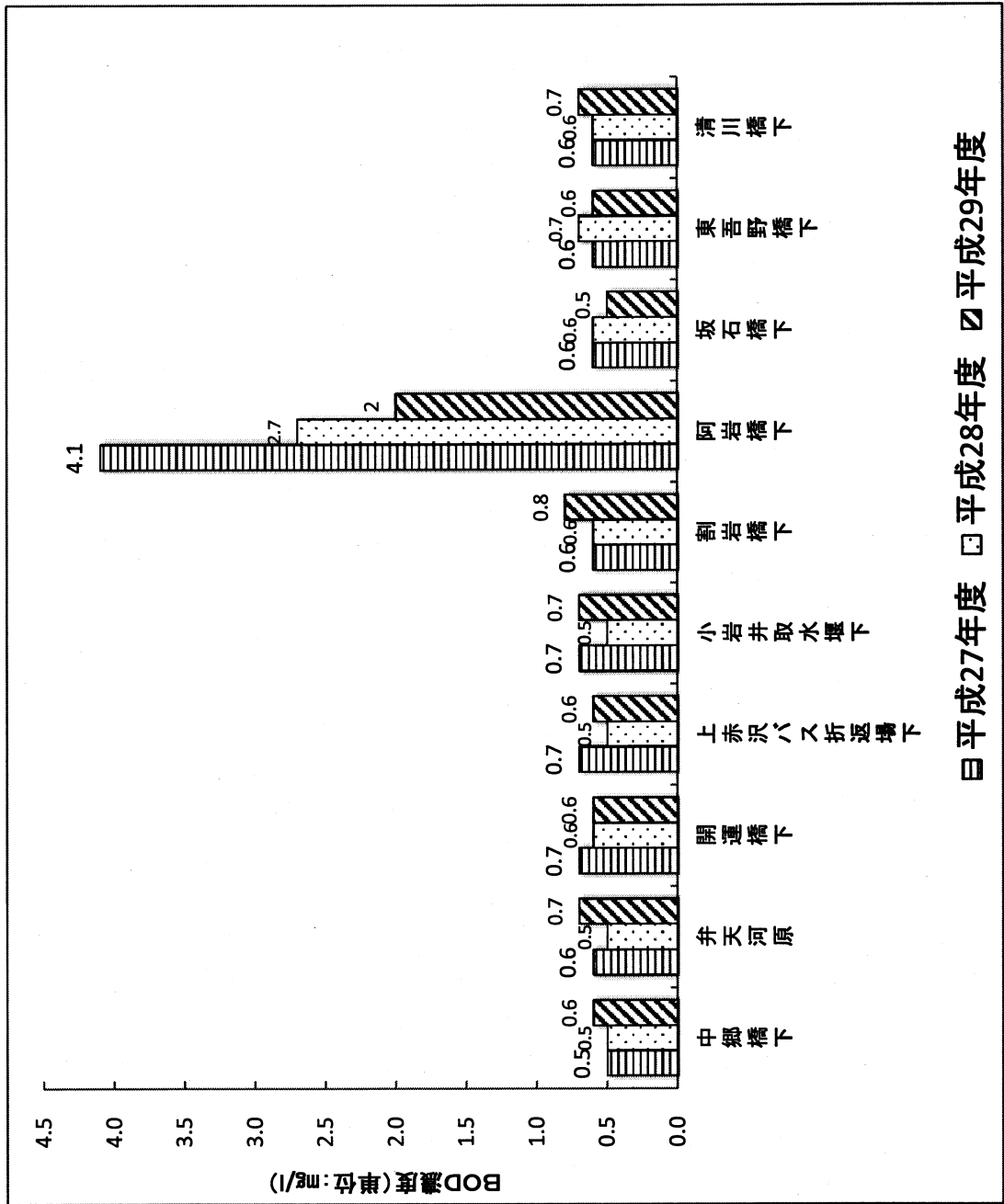
※BODは0.5未満を0.5、SSは1未満を1と表示

※BOD75%値:環境基準に適合しているか否かについて評価する際に用いられる年間統計値

参考) 生活環境の保全に関する環境基準(河川)

項目	基準			値		
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	溶存酸素量 (DO)	浮遊物質 (SS)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	溶存酸素量 (DO)	浮遊物質 (SS)
A	2mg/l以下	7.5mg/l以上	25mg/l以下	2mg/l以下	7.5mg/l以上	25mg/l以下
B	3mg/l以下	5mg/l以上	25mg/l以下	3mg/l以下	5mg/l以上	25mg/l以下

河川別BOD状況(過去3年間)



水質調査地点案内図

